

学習型知覚データ処理研究室

～人間の知恵とデータを駆使した人物理解技術の実現～

村松 大吾

背景

カメラなどから、様々な場面において人物の映像が撮影されている
人物認証・属性推定、スポーツ映像解析など幅広い分野で活用可能



アプリケーション

- 人物認証
- 属性推定
- 行動理解
- “良さ”の評価

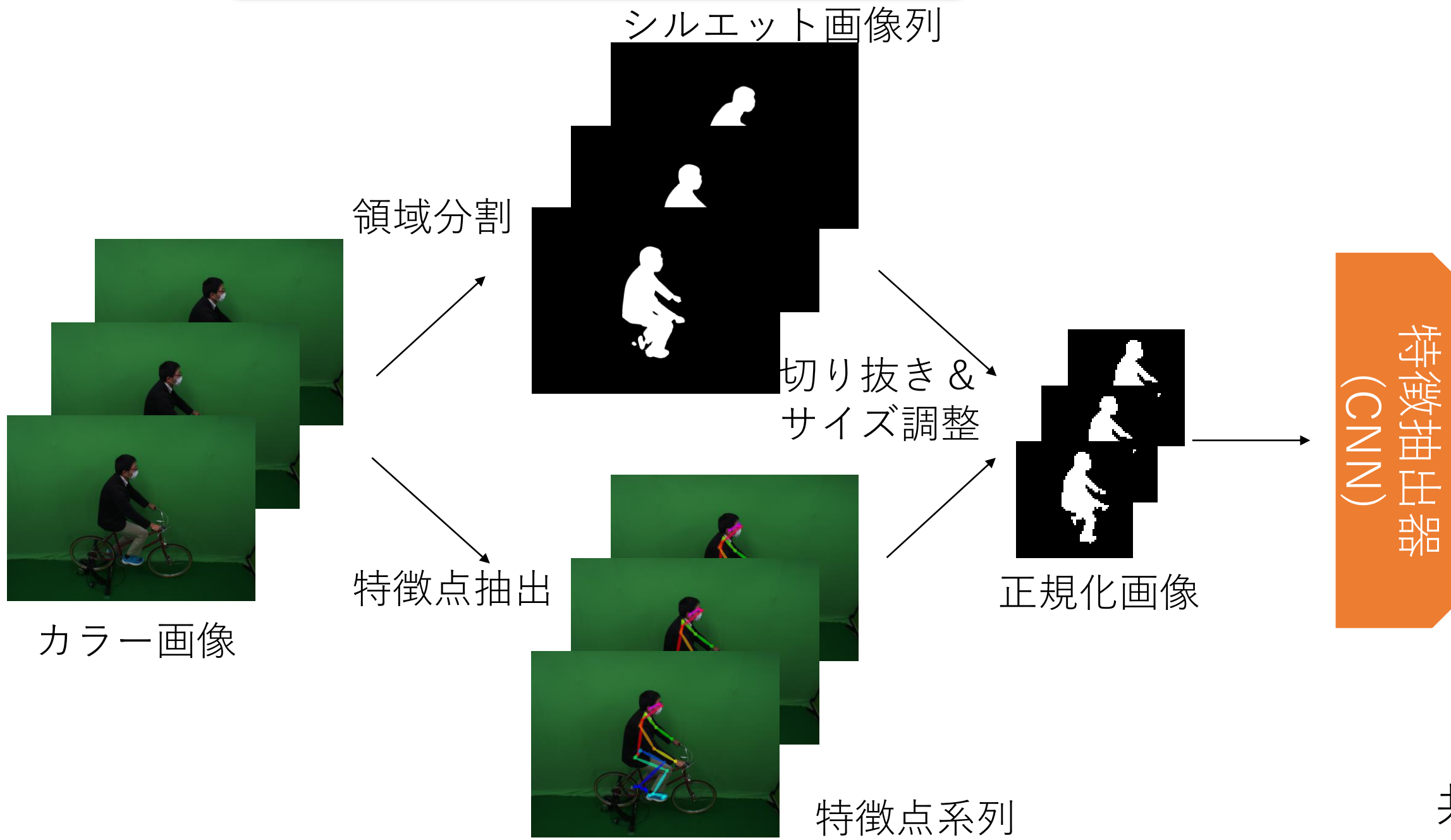
検討すべき事項

- 観測視点の違い
- 隠蔽
- 荷物所持
- データ偏り

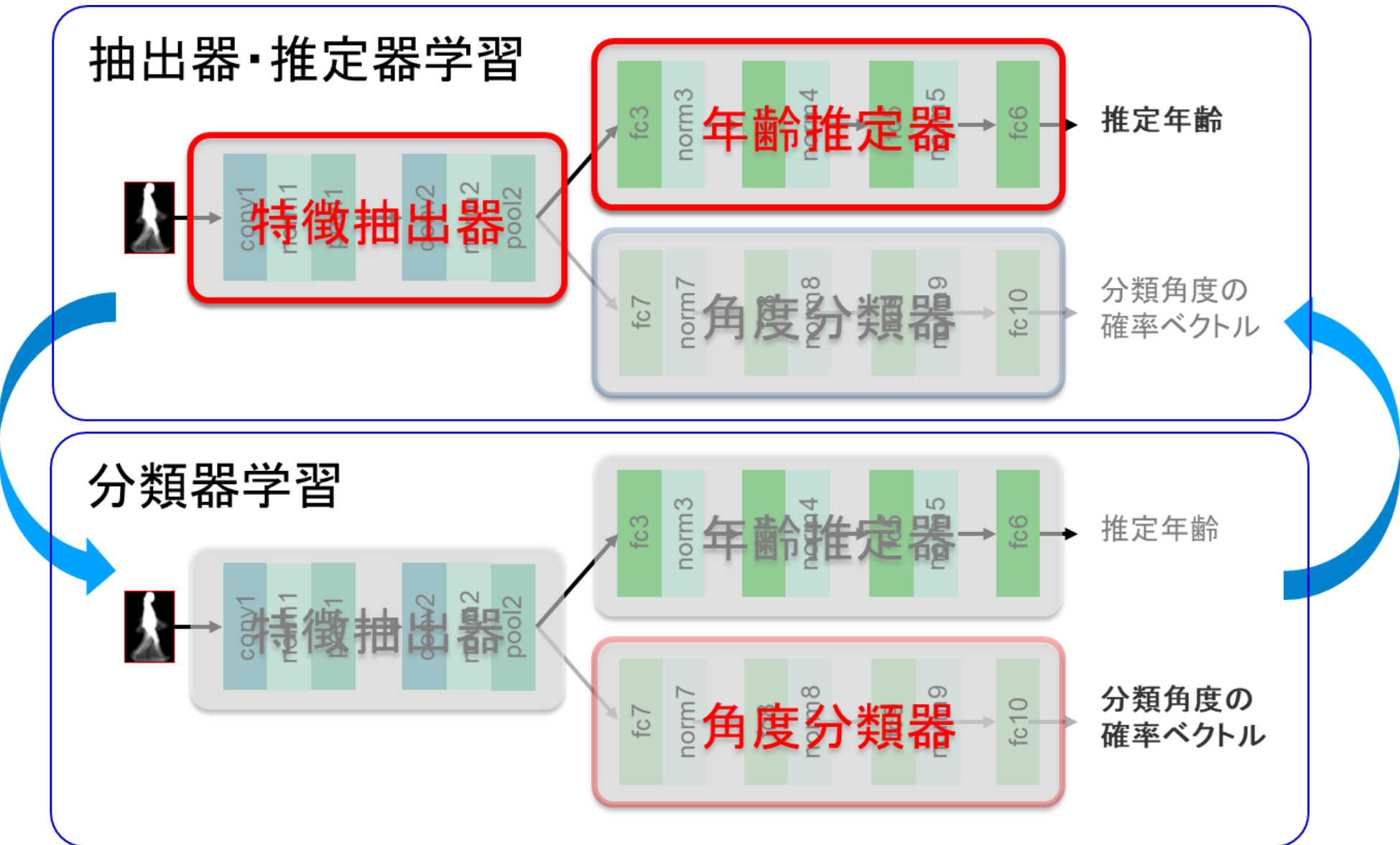
研究室の成果

人物認証において、映像から抽出した人物シルエット映像を対象とした手法を構築

自転車乗車人物認証



共変量抑制

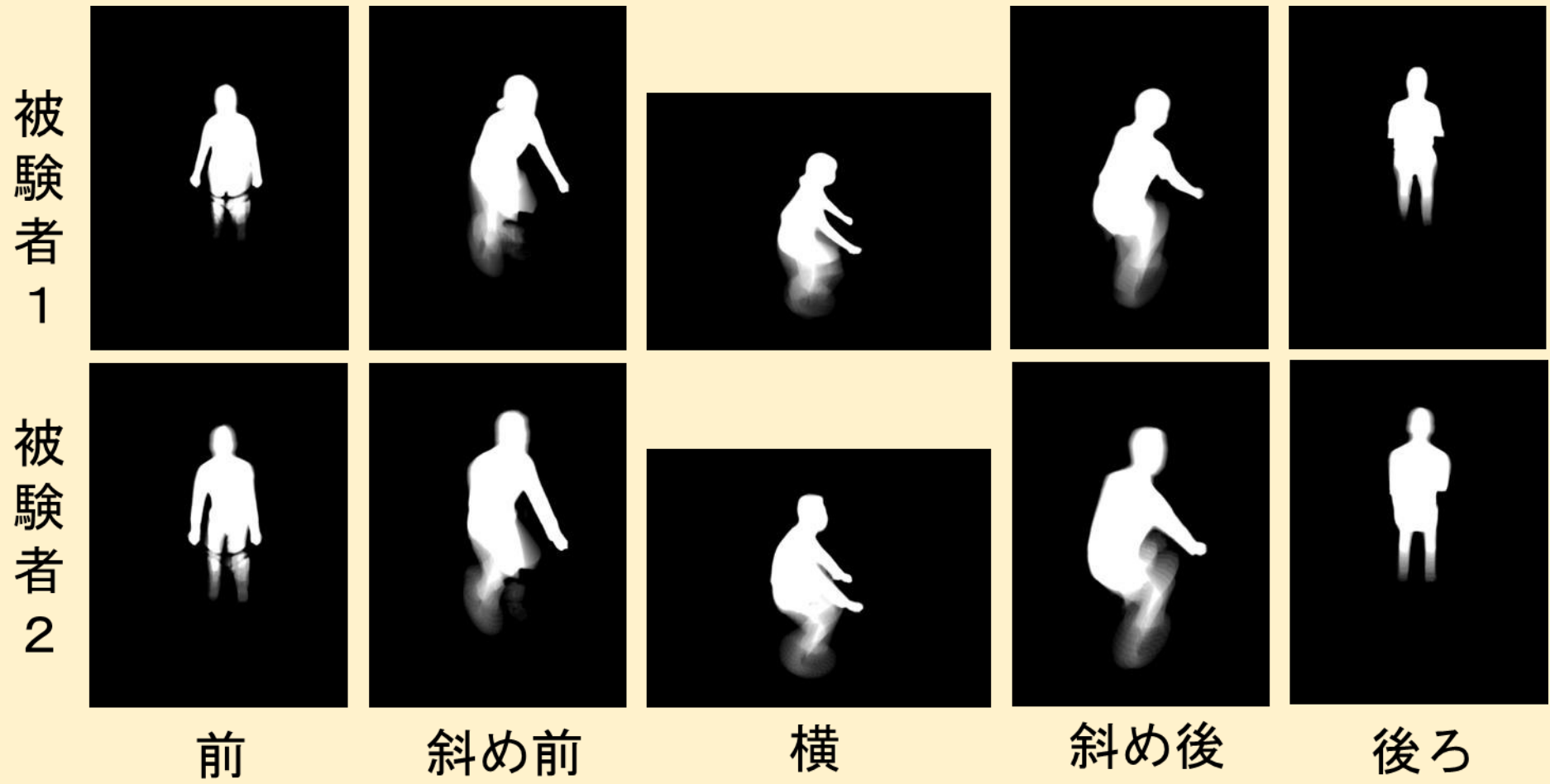


共変量に基づくデータ偏りの影響を抑制するように学習

応用例

データベース構築

様々な観測角度からの映像を収集



歩容年齢推定精度改善

学習データに極端な偏りがある場合でも精度を維持

